

# 27年度 成田市の当初予算決まる！

平成27年度の成田市の当初予算が決まりました。一般会計当初予算は611億円となり、26年度当初予算615億円とほぼ横ばい。特別会計は286億6485万5千円で、前年度比12.4%増。総計は897億6485万5千円で前年度比3.2%増となりました。

一般会計600億円という規模は20万人都市相当です。成田市民は約13万1千人ですから市民一人当たりの予算は約46万6千円ということになります。

景気が緩やかな回復基調に向かっているとの指摘にも実感できないなかで、これほどの予算規模が確保されると、一見、成田市が堅実に成長、発展しているように思えるかもしれません。ですが、今回の予算規模は税収の見込みが増えたことによるものではなく、市債（借金）の発行や財政調整基金（貯金）の切り崩しな

どによるものなのです。

既述の通り、大学誘致や駅前再開発、今後も国家戦略特区の指定を受けて、医学部誘致や空港周辺へのMICE施設整備、東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据えたスポーツツーリズムなど戦略的課題が山積しています。

「成田市は裕福」という印象は隣接市との数値的比較に過ぎず、空港を抱える都市としての基盤整備に多額な予算を投じていくことが必要な成田市に、当てはまる言葉ではありません。

今後も中長期的な視野に立った、政策の集中と選択による財政の効率化を提案しながら、効果的な予算執行となるよう、引き続き行政のチェックをしてまいります。



# 不妊治療費・不育治療費の助成がはじまります！

2013年6月議会における一般質問で、市に政策提案した「不妊治療費の助成」がこのほど開始される運びとなりました！

2年間以上子どもができない不妊症は近年増加傾向にあり、対象者は夫婦の約10%にあたる200万人超と言われています。

また医療費が適用されない高度不妊治療は、1回当たり体外受精が約30万円、顕微授精が約40万円程度と高額な医療費が必要とされています。調査結果によると、通院をはじめてからの治療費総額は平均して100万～200万円と高額なだけではなく、治療のために仕事に支障ができるなど、仕事との両立に悩む人が多いのが実

情であり、多くの方から要望を寄せられていきました。

そこで、不妊に悩む夫婦の精神的負担と経済的な負担の軽減を図る意味からも、県の事業に上乗せする形で市独自の助成事業をと提案するとともに、不育症治療助成事業についても論陣を張りました。

その後この事案は、行政側の真摯な取り組みにより5か年計画のローリングに盛り込まれ、今年度当初予算で政策が実現される運びとなりました。

今後も皆さまの声を行政の側に確実に届けるとともに、要望の結実に向かって鋭意取り組んでまいります！

1978年10月31日生まれ（36歳）

はくと幼稚園、吾妻小学校、吾妻中学校、平成3年「少年の翼」団員  
県立富里高等学校在学中ニュージーランドに1年留学、高千穂商科大学、明治大学大学院修士  
予備校講師・校舎長として1000人以上の子どもたちの育成に尽力！  
平成19年歴代過去最多得票2651票で成田市議会議員初当選  
平成23年歴代過去最多得票4079票で2期目当選  
日本サーフィン連盟公認インストラクター

雨宮真吾事務所

〒286-0018  
成田市吾妻3-48-28 TEL・FAX/0476-37-3831

発行：政友クラブ「成田市議会議員 雨宮真吾」〒286-0018 成田市吾妻3-48-28

# 雨宮しんご

WAVE Vol.32

Shingo Amamiya Narita City Report

4年に一度の  
市議会議員選挙で  
政策提案できる議員を！

4年に一度の市議会議員選挙で、政策提案できる議員を！

国の経済政策に伴う円安や消費税率の引き上げの影響が出ている一方で、成田市では国際医療大学看護学部の誘致をはじめ、駅前再開発事業などにより「市債残高」（将来世代への借金）は670億円にまで膨れ上がり、嘗々と積み立ててきた財政調整基金（貯金）の切り崩しも顕著となっています。

このような時だからこそ、市の事業提案に対して是々非々を鮮明に打ち出し問題

点を指摘するとともに、より良い改善策を示すことのできるチェック機関としての市議会が求められています。

問題点を把握し、その改善策を的確に策定し提案する企画力と実行力。そして、広い視野に立った、市民生活向上のための立案力。次代を担う子ども達のためにツケを回さない、成田市の未来を描くことのできる展望力をもった議員。

4年に1度の市議会議員選挙で、政策提案できる議員を増やしましょう！

4/26 成田市議会議員選挙！！

info@ama-shin.net  
www.ama-shin.net

雨宮しんご

検索

「28歳の私には、未来への責任がある。」蒼き志を裡に私の未来への挑戦が始まりました。  
この8年間、必ずしも全てにおいて思い通りの結果が出せたとは言えません。  
それでも、決して弛むことなく本気で挑戦を続ければ変えることができる。  
仲間たちと一緒に「成田の未来をもっとよくできる」という確かな手ごたえを今、感じています。

## 雨宮しんご

2007

### 信念を貫く一人会派「蒼成会」

28歳。一人会派「蒼成会」を立ち上げました。成田市の現状を調査、分析したうえで問題点を明確にし、その改善、改革のための行政資料を収集、精査。当選後初議会から当時新聞報道でも大きく取り上げられた（仮称）公津の杜消防分署建設事業問題に敢然と斬り込むなど、市議会の一般質問（毎回質問）や議案質疑、討論に臨んできました。

2008

### 地方から国を変えるために。

成田新高速鉄道高額運賃問題に切り込んだほか、子育て世代として教育問題や、子育て支援策を中心の改善を図りました。また、「地方から国（政治）を変える」という新しい政治の在り方を提唱する地方政治家たちの政策提言＆設計能力を競う全国大会で、全国429自治体（県市町村）971件の中から私の政策提言＆設計書が全国ベスト5に選出されました。

2009

### 空港の盛衰は成田に直結！

羽田空港D滑走路供用開始と共に国際線枠拡充が決定し、これまで日本の国際線基幹空港としてあり続けた成田が、一転して衰退の危機に直面しました。空港と盛衰を共にする成田市は地盤沈下を防ぐための対策として「30万回容量拡大」を国に示すべき！と一般質問で一貫して主張しました。議員活動の傍ら、全国の都県議会議員や区市議会議員、それに自治体首長、大学教授、学生たちが参席した会場で講演を行うなど、活動の場も広げてきました。

2010

### 大きな前進。大きな改善。

都心と成田空港を30分台で結ぶ成田新高速鉄道事業に携わる新駅基幹交通網整備促進特別委員会副委員長を仰せつかりました。また、何度も提言し続けてきた「成田空港容量30万回への拡大」が合意されるなど、成田の躍進に尽力、他にも「政策入札」を提言、赤坂センタービルのアスベスト問題を取り上げ、大きな改善を果たしました。

## 市議会議員としての8年間

2011

### 東日本大震災の爪痕

東日本大震災未曽有の事態に見舞われた年。国の遅々として進まない原発対応には行政システムさえ疑いたくなりました。それでも、「成田でできることは何か？」を考え情報発信や放射線量測定の実施と対策が実現しました。また福祉避難所の設置や地域防災計画の見直しも決定するなど防災対策に従事しました。

[6月定例会議 一般質問]  
成田市の危機管理体制構築 防災・減災に向けた取り組み  
東日本大震災の総括 など

[9月定例会議 一般質問]  
変動型など入札制度改革 震ヶ浦導水事業問題  
放射能対策を迅速

[12月定例会議 一般質問]  
市民に危険が伴う街灯消灯解除 放射能問題への取り組み  
相次ぐ不祥事について

[3月定例会議 一般質問]  
地域防災計画の見直し  
再生可能エネルギーの普及促進策  
部活動理由に伴う指定学区外進学問題

2012

### 空港のカーフューの弾力的運用！

この年はLCC（格安航空会社）が成田に進出するも、開港時からのカーフュー（23時～翌6時離着陸制限）の影響で欠航・遅延が相次ぎ、使い勝手が悪い成田空港が露呈しました。そこで、「カーフューの弾力的運用をすべき！」と誰よりも早く議会で取り上げるなど、タブーを恐れず空港発展に向け論陣を張り、翌年のカーフューの弾力的運用の実施に寄与しました！

[6月定例会議 一般質問]  
不審者から児童を守るために  
通学路における安全対策 防災行政無線の活用

[9月定例会議 一般質問]  
成田空港の成長戦略 カーフューの弾力化すべき  
教育委員会制度の責任所在

[12月定例会議 一般質問]  
一般廃棄物処理基本計画の中間見直し  
新しいごみの分別区分問題 所得格差に伴う教育格差の是正を

[3月定例会議 一般質問]  
市内における体罰問題  
教職員、外部指導者の研修・指導の徹底 教育委員会の体质改善

2013

### 政策課題に毅然と切り込む！

交通対策特別委員長を拝命、これまで一部地区でしか実施されていなかった高齢者福祉政策であるオンデマンド交通（乗合い型タクシー）をニュータウンなど市内全域への拡大に尽力しました。また、医療大学誘致については是々非々姿勢を貫き成田市議会初となる付帯決議を行ななど、成田市の政策の幹を大きく動かす政策立案に携わりました。

[6月定例会議 一般質問]  
不妊治療・不育症への対策 クレジットカード税金納付  
部活動理由に伴う中学校への学区外進学問題

[9月定例会議 一般質問]  
医科系大学の誘致問題 市長政策と今大学誘致との整合性  
誘致対象を決定するまでのプロセス

[12月定例会議 一般質問]  
がけ地整備補助金事業などの負担軽減策  
成田市建設業災害対策協力会との協力体制

[3月定例会議 一般質問]  
国際医療福祉大学の誘致問題 校舎建設業者の選定問題  
大雪対策での成田空港との連携

2014

### 議会改革派議員改革にあり！

成田市議会最大会派「政友クラブ」の幹事長を拝命、政策研究に加え、会派全体の政策活動をマネジメントすること、議会全体を巻き込んで政策実現のために戦略的に活動することになりました。「議会改革は議員改革にあり！」と議員定数削減に取り組むも阻まれて否決。しかし、これで諦めず市民の皆さまのための政策を強い仲間とつくりていきます！

[6月定例会議 一般質問]  
補助金のあり方を見直すべき  
不祥事、長期病休問題の対策 非違行為への厳格な対応を

[9月定例会議 一般質問]  
高齢者居住安定確保計画への取り組み  
介護保険事業計画の達成状況について

[12月定例会議 一般質問]  
番号制度・自治体クラウドへの取り組み  
いびつな行政区割り問題 ニュータウン地区の学校適正配置見直し

[3月定例会議 一般質問]  
入札制度改革 防災対策  
学校区カルテ 療養費の不正請求対策

## 自信は確信へ。

行政施策、行政サービスが政治的・経済的・社会的弱者の立場に立った判断、運営が肝要であると同時に、地方分権の波からも適所に市場原理を導入する必要性を感じている。今、成田市は、約12万人の株主に支えられ、約1200人の社員を擁する一つの企業として、

ビジョンある経営の必要に迫られているのではないか。現財政力に甘んじることなく見直しを行うことで、無駄を省いた

スタイルッシュかつ、今後持続可能な行財政運営を行わなければならない。

(9月定例会議一般質問にて)

